


むかし昔、  
某地方有数の山岳の  
麓に小さな古民家  
がありました。

そこには一人で  
暮らしている少女には  
何やら変な噂が  
立つことがあります。



もう、  
お狐さん！



曰く人に化けた  
妖狐を見た、と。

……なんじゃ。  
今日はちゃんと働いた  
じゃろ。



はあ……。  
仕方ないじゃろ。

むん。

人間と同じように  
働くが楽だからの。



また村の人たちが  
うちの噂を  
立ててましたよ。

変な耳生やして  
人間を見たって。

ふん  
ふん



……終わったら  
お説教の続き  
ですからね。



それはそれとしての、  
今日の分の褒美は  
貰いたいものじゃ。

では早速ご主人の  
生気をいただく  
とするかの。



ほれ。

ホワッ





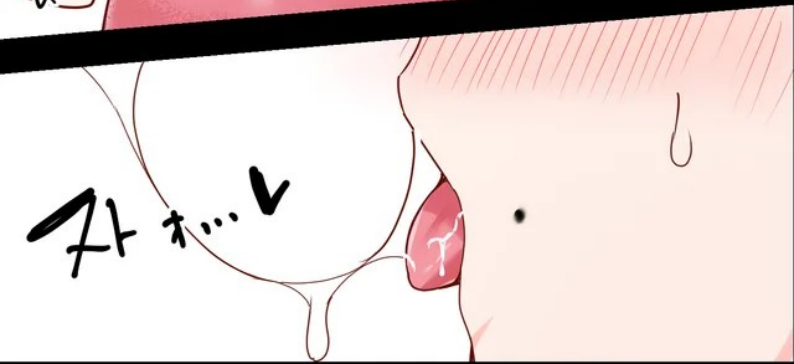


あゝ

熱い舌と唾液が身体中に絡みついて蕩けそう♡

ぬりっ♡

ぬりっ  
ぬりっ



アホ...♡



ハズが...♡

今日もたっぷり可愛がってやるからのー♡

は

は

っ



んん

そろそろだ。ねいっつも私の身体を

もう腹が減って限界じゃ...♡

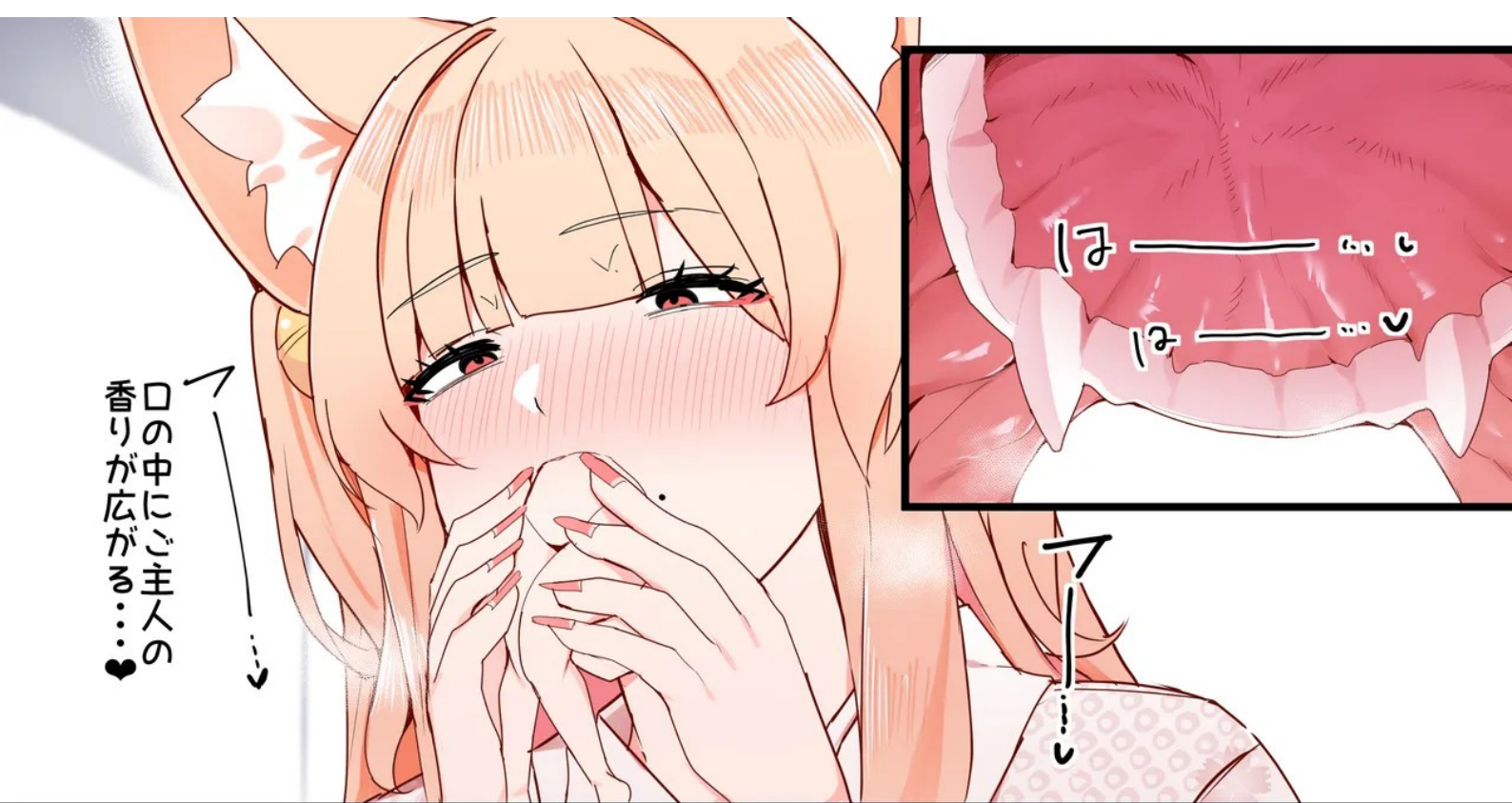
トク...♡

は

は

は





口の中心にご主人の  
香りが広がる……♡

はー……♡  
はー……♡



飲んでしまい  
たくなる……♡

ぐわん

ぐわん

ぐわん



ぬみみ……♡

おっといかん  
まだ我慢じゃ♡



しかし、ご主人を  
しゃぶると何故  
いつも股が切なく  
なるのじゃろう……♡

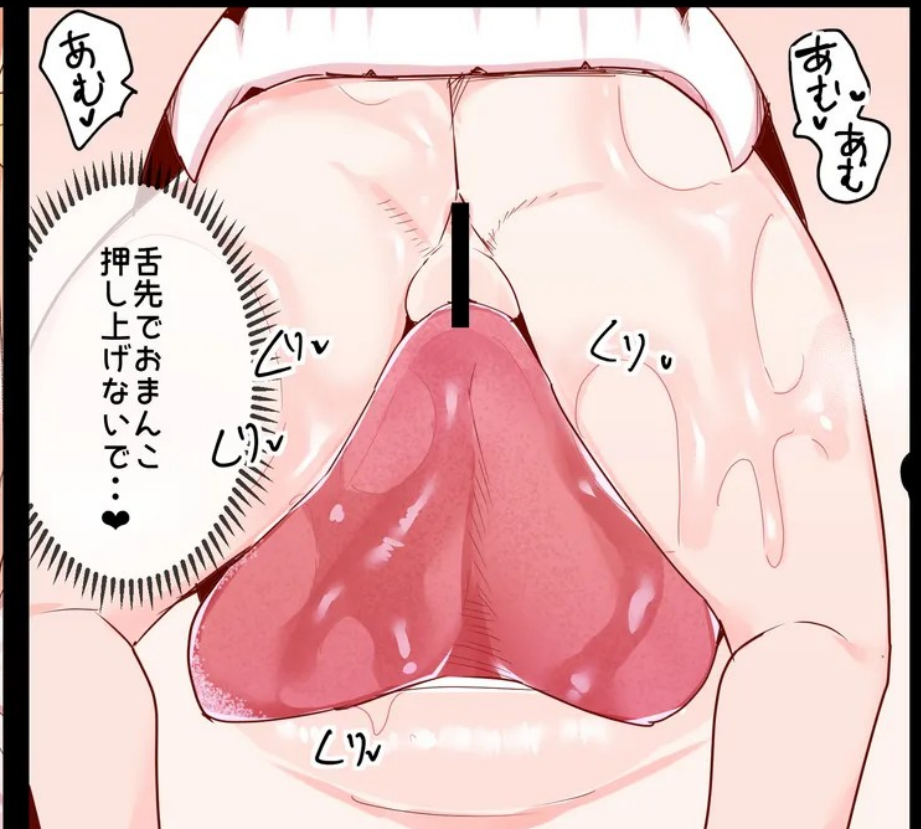
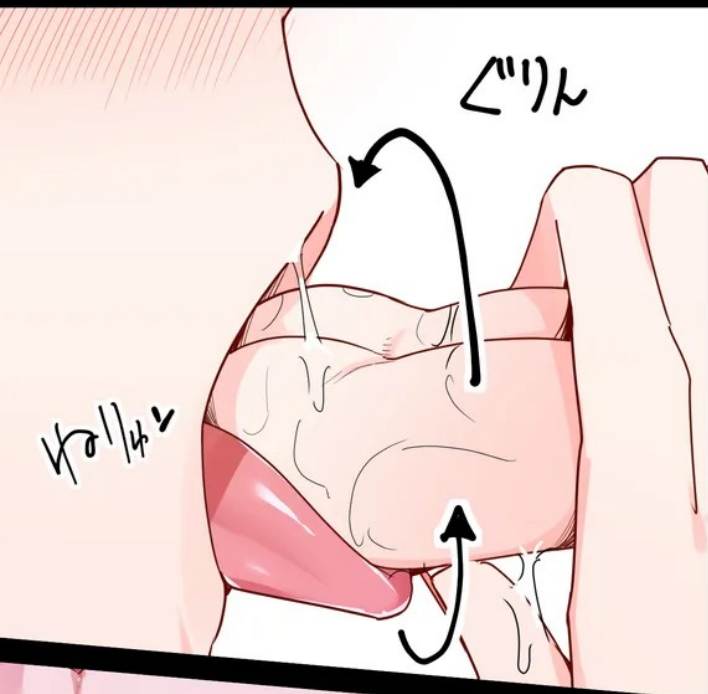
今までこんなこと  
無かったのに

ぐわん

もじ

もじ









食いたくて  
うずうずして  
るんじゃ……♡

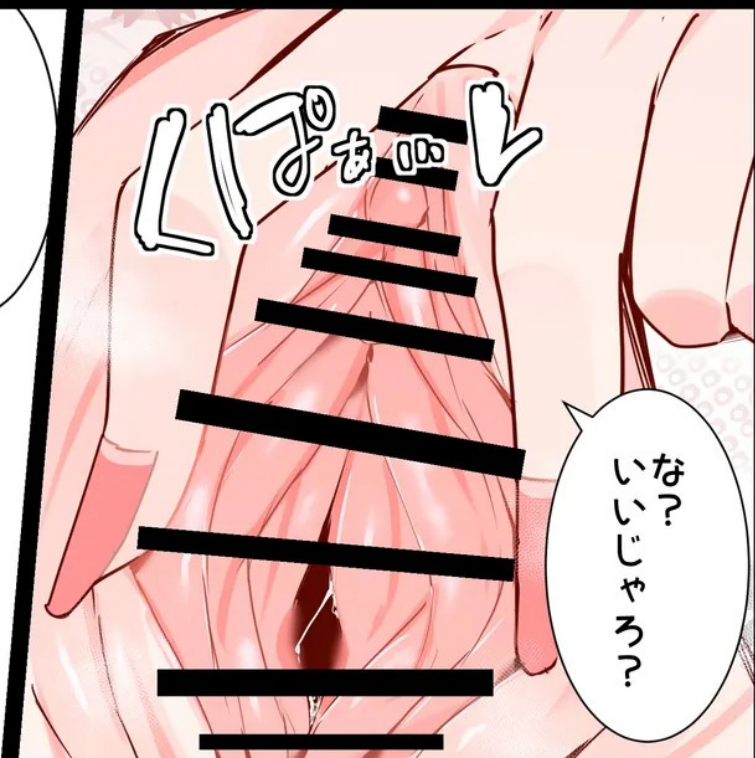
こっちでも  
生力を食っても  
良いかの……♡

ニヤニヤ



迫力すぎ……

ニヤ



しゅわん

な？  
いいじゃろ？

ちよっ...

んんんん

んんん

やっぱもう少し  
待ってー

んんん...

んんんんん

んんんん

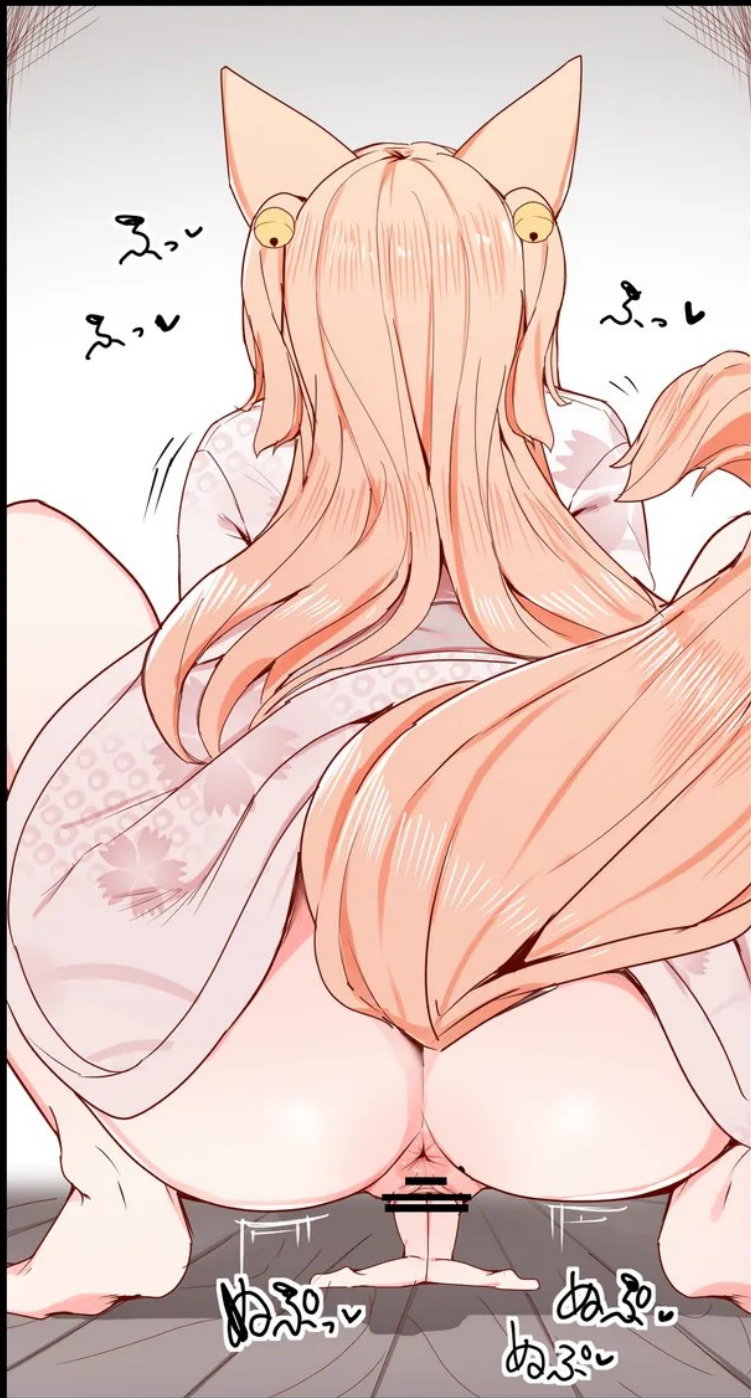
んんんんん

んんんん

んんんん

んんん











お主は僕の  
愛しい主様じゃ。

殺すなんてつまらん  
ことません。

ぐわん ぐわん



ちやんと尻から  
出してやる。

安心してくれ。

にん ぐわん

にんぐわん



安心してろ。  
術をかけるから  
消化はせんわ。

のしん



身体が火照って  
仕方ないんじゃ

頼む

ぐわん ぐわん

ぐわん ぐわん

ぐわん ぐわん

ぐわん



主様とひとつになつてみたいんじゃない♡

愛おしくてたまらんのじゃ♡



もちろんじゃ！約束する！

：それが重いのでどいて下さい。

わくわく

おーすまん。

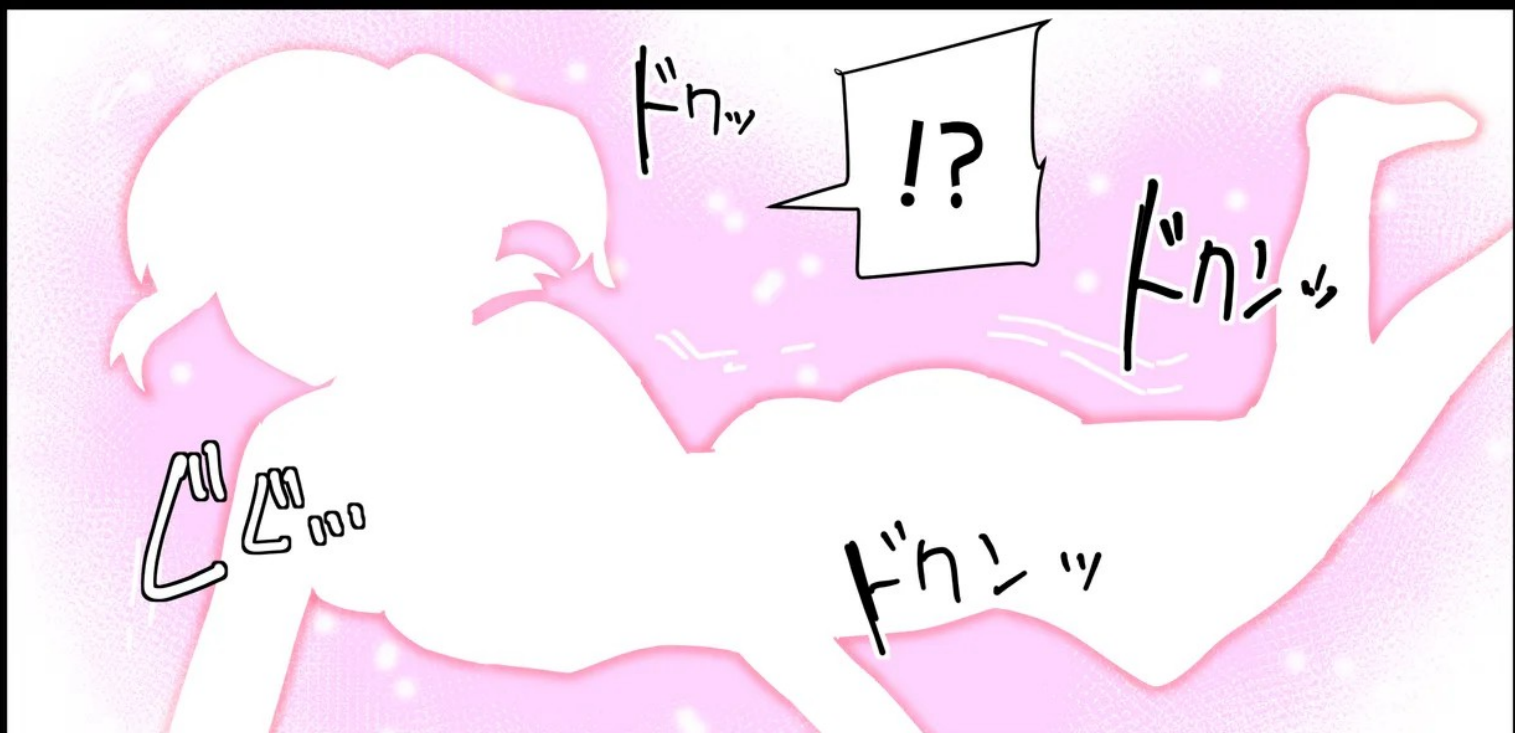


.....



はあ... いわかりました。

消化できないって約束できるなら。





どれどれ...

アッ...

さ、やらに  
お狐様がでっかく...



ふしゅ〜



ドキ  
ドキ  
ドキ

はー...

無論じゃ!

...うむ。  
これくらいなら  
丸呑みできそう  
じゃな...

あの...本当に  
食べてみるつもり  
ですか?

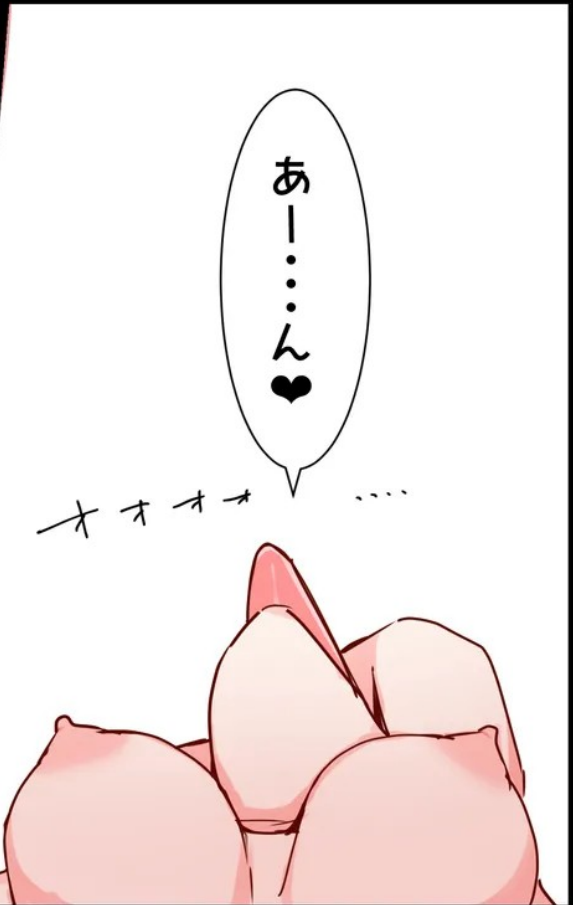
はー...

はー...



じゅめ...♪

じゅめじゅめて  
独特な臭い...



あー...ん♡

オオオオ...



ぎゅるるる...♪

ぐるる...

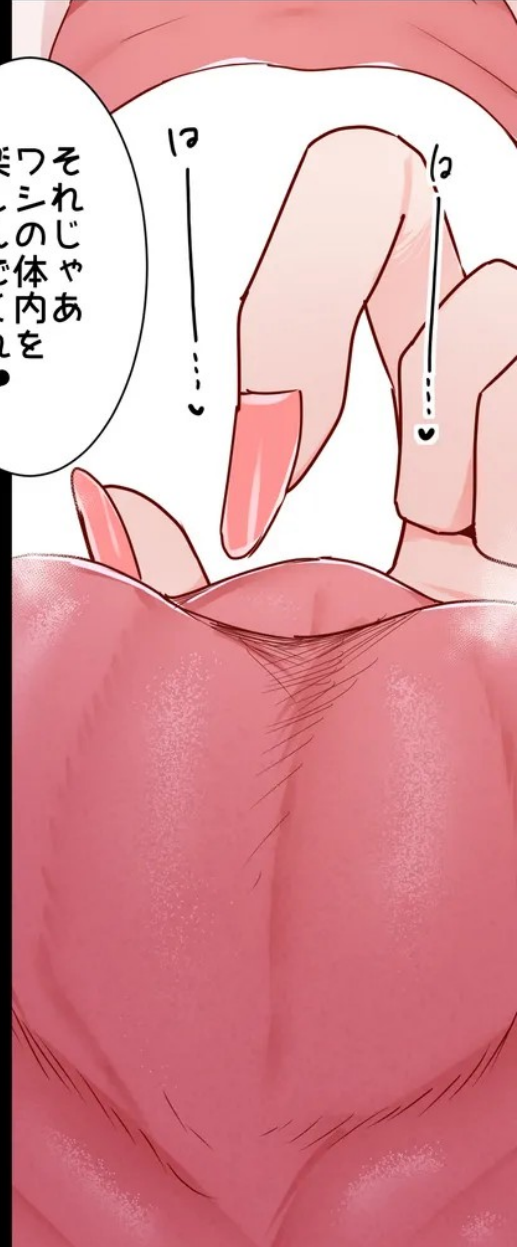
んん...

んん... んん...

.....



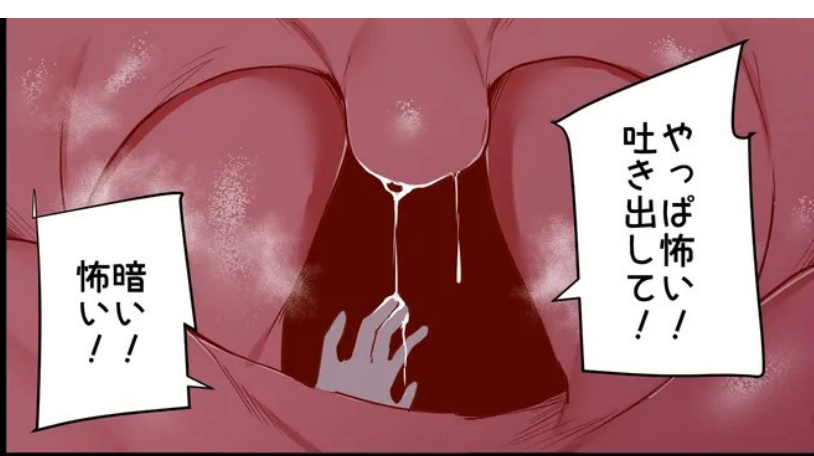
それじゃあ  
ワシの体内を  
楽しんでくれ♡



は...♡

は...♡

ぎゅるるる...♪



怖  
暗  
い  
!!

や  
っ  
ぱ  
怖  
い  
!  
吐  
き  
出  
し  
て  
!!



え、ち  
よ  
っ  
と  
待  
っ  
て  
……

ド  
ク  
ン……

ギ  
ガ  
ン……

ド  
ク  
ン……

っ  
ん



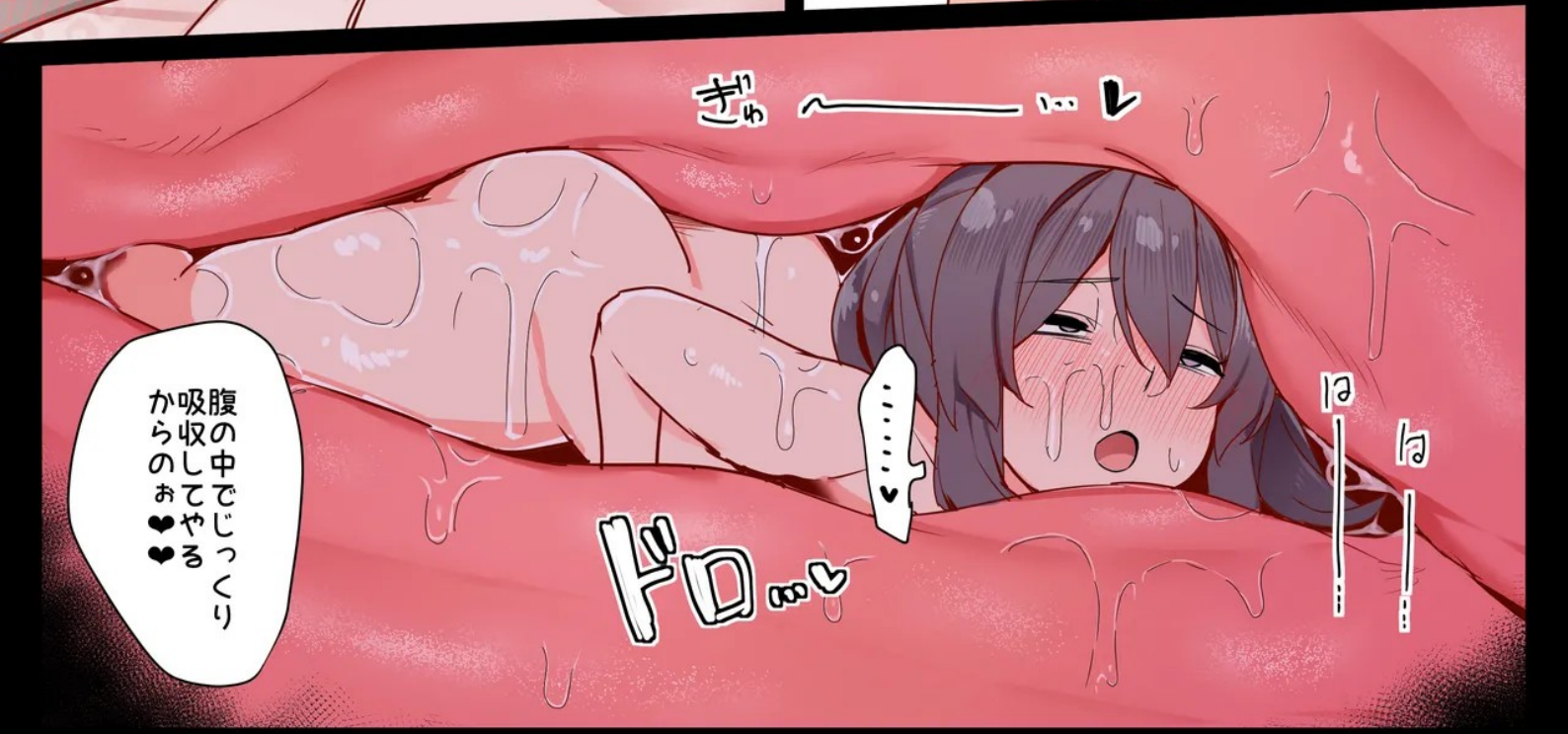
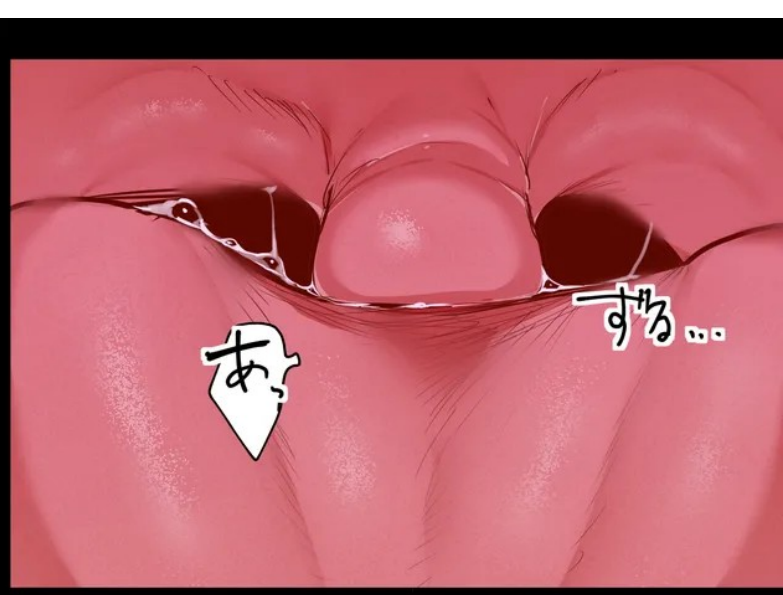
ん  
ん  
?



……  
♡

ハ  
ハ  
ハ

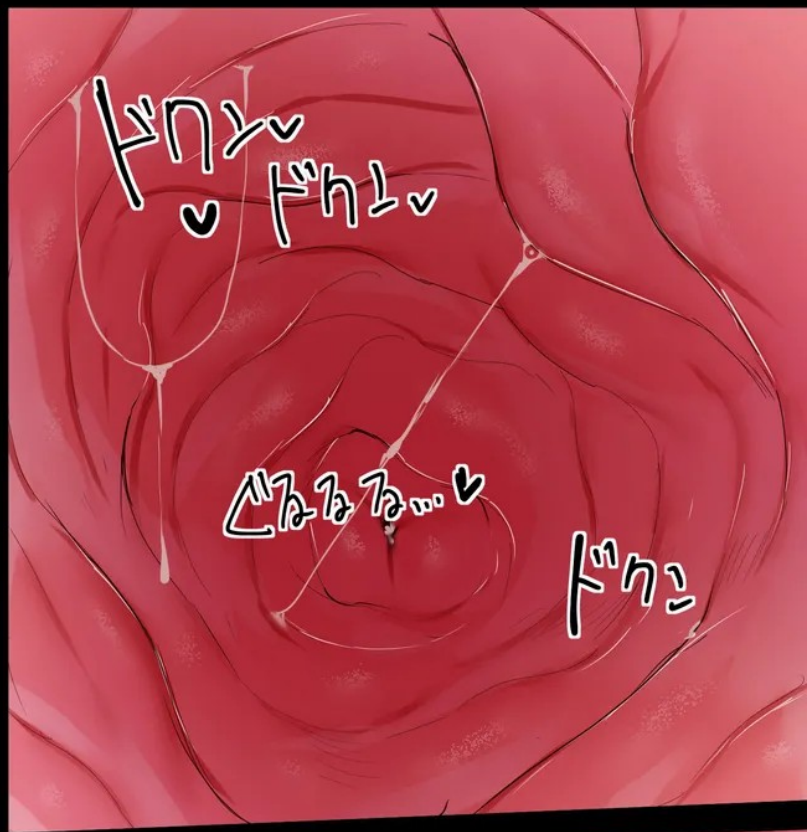
ハ  
ハ  
ハ



腹の奥が  
きゅんきゅん  
するわ♥

ふっふっ...♥  
ご主人が腹に  
下っていくのを  
感じるのぉ...♥

腹の中でじっくり  
吸収してやる  
からのお♥♥





ハッ  
ふー  
ー！

どんだんご主人の  
エネルギーが  
沁みてるの  
感じるのぉ…



ドクン  
ドクン

…あれ？

ドクン



さす…

なんの底が熱い…？



ハッハッハッ…

なんか胃壁が  
迫ってきてる  
気がするな…。





んが...

びん  
びん

ん

ん

快樂で腰が抜けてしまった...♡



びん  
びん

またまんこが  
きゅんきゅんして  
きたあ...♡

きゅん



どんどん主人が  
腹の底へ落ちていくのを  
胃で感じる...♡

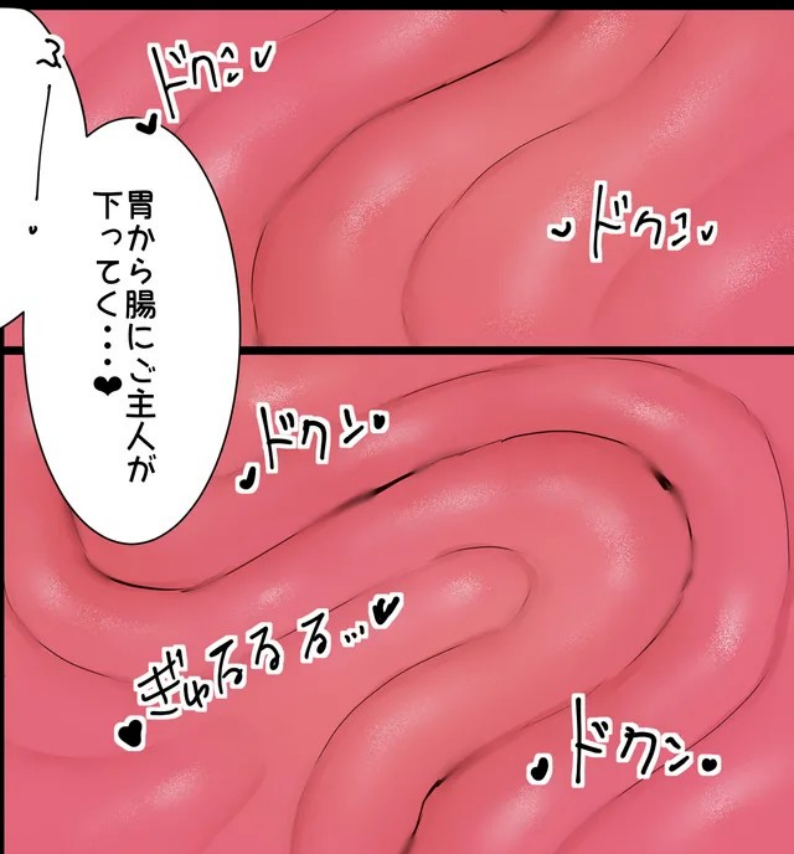
ふ

ふ

びん

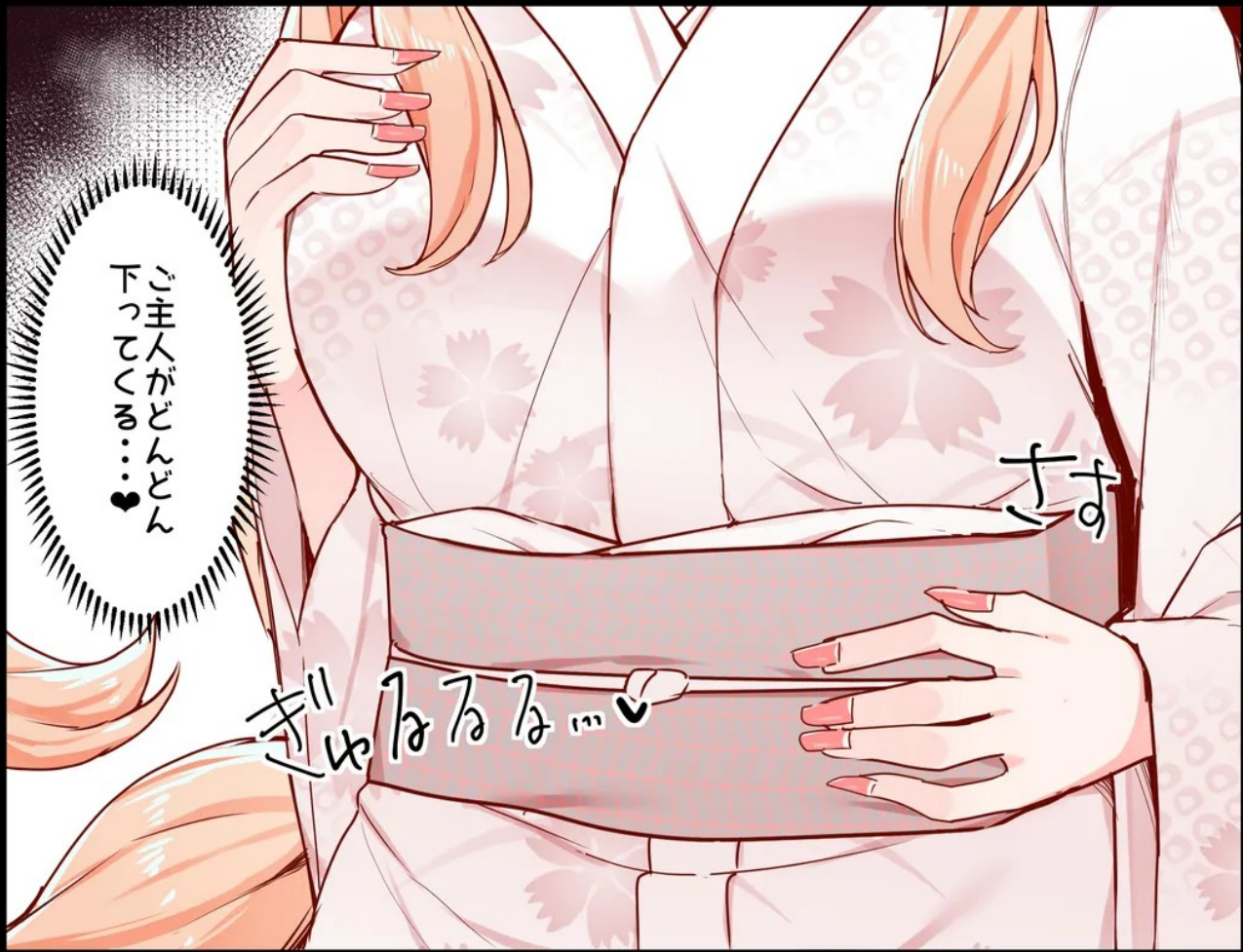
びん





お尻の穴も  
むずむずして  
きたあ...♡

胃から腸にご主人が  
下ってく...♡



ご主人がどんどん  
下ってくる……♡

すす

きゅるるる…♡



か、廁に  
行かないと……っ

も、もう  
無理じゃ……♡

きゅるる……



きゅ…♡

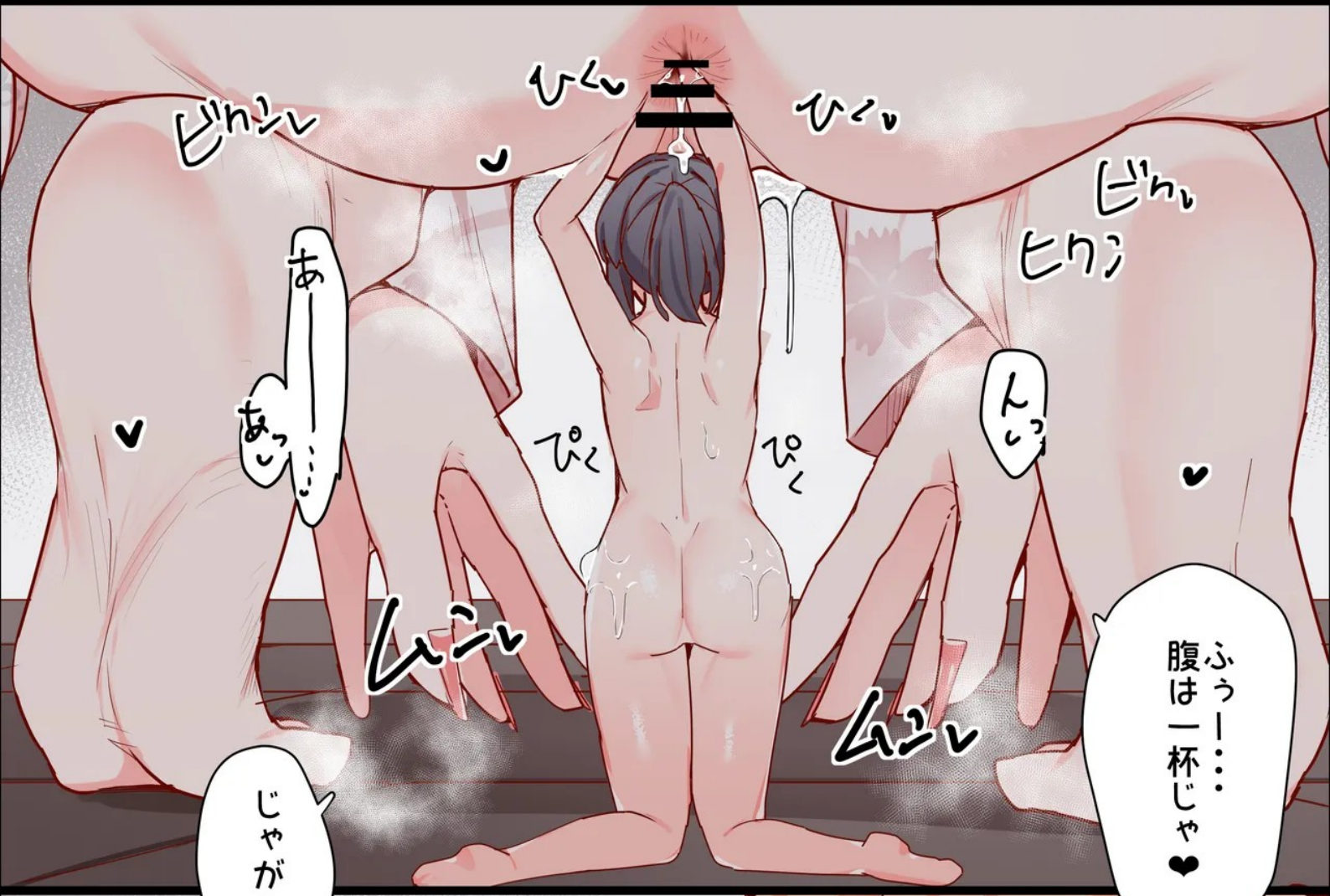
ご主人…  
今からひり出す  
からの…♡

なんかいつもと  
違って尻の入り口  
きゅんきゅんする♡

ドド…♡

ふわぁ…♡

ひん ひん



ひん

ひん

ひん

ひん

ひん

あ  
あ  
あ

ん

ひん

ひん

ひん

ひん

じゃが…♡

ふうー…  
腹は一杯じゃ♡



ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ご主人…♡  
すまんがもう少し  
ワシの自慰に  
付き合ってもらおうぞ♡

ふん

ふん

ふん

ドキッ、ドキッ

アッ、アッ

あ、あ

アッ、アッ、アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

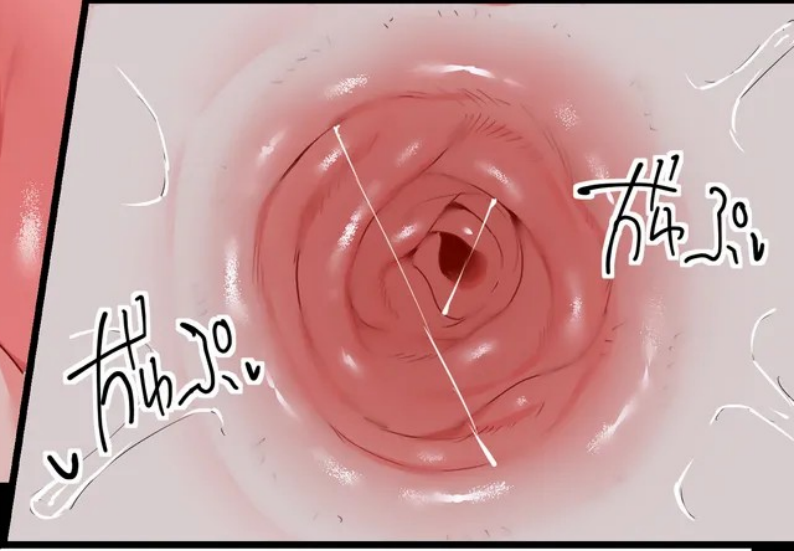
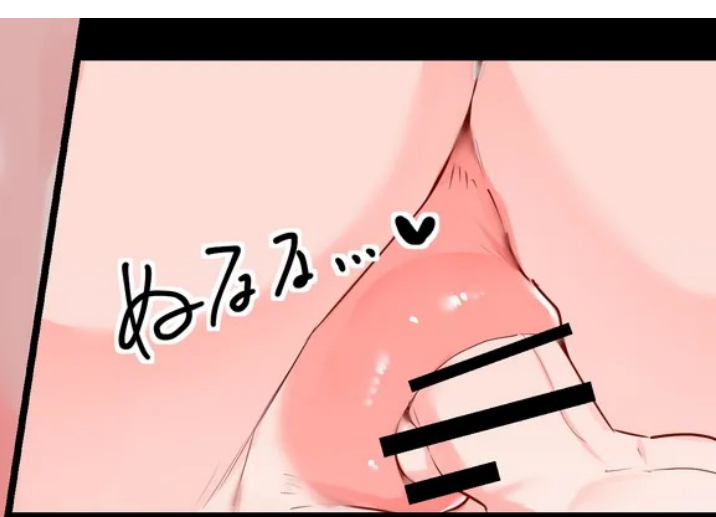
アッ、アッ

アッ、アッ

アッ、アッ

アッ







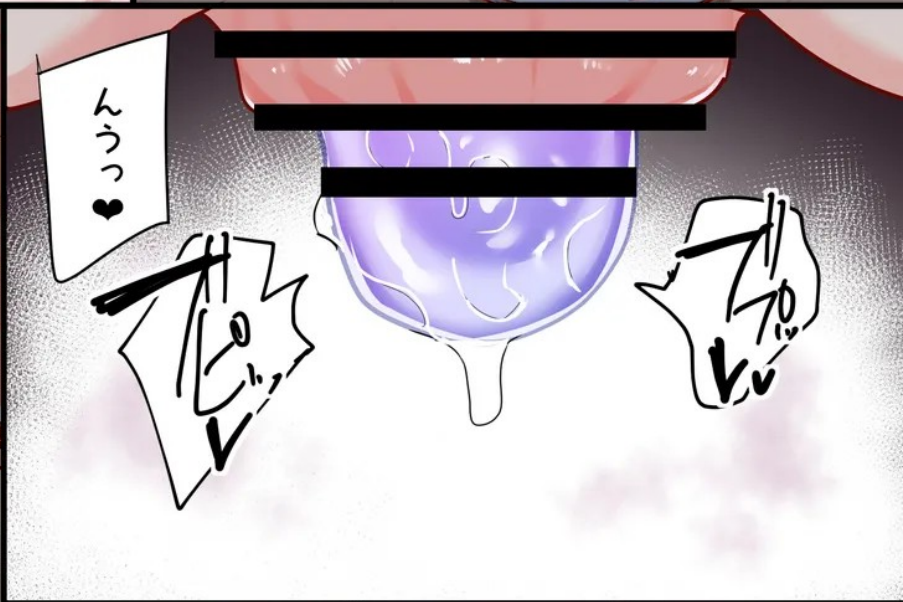
ま、ま、ま、い  
力み過ぎたて…  
もう我慢できんっ ♡



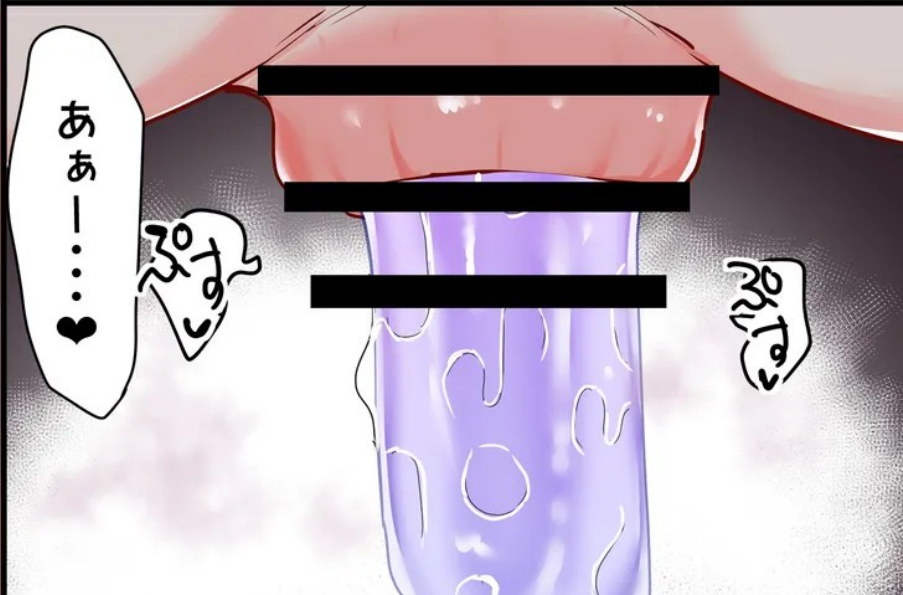
んっ ♡  
ふうー… ♡  
ぬるっ… ♡  
まっ ♡



は  
ご主人すまんが  
少し我慢してくれ ♡

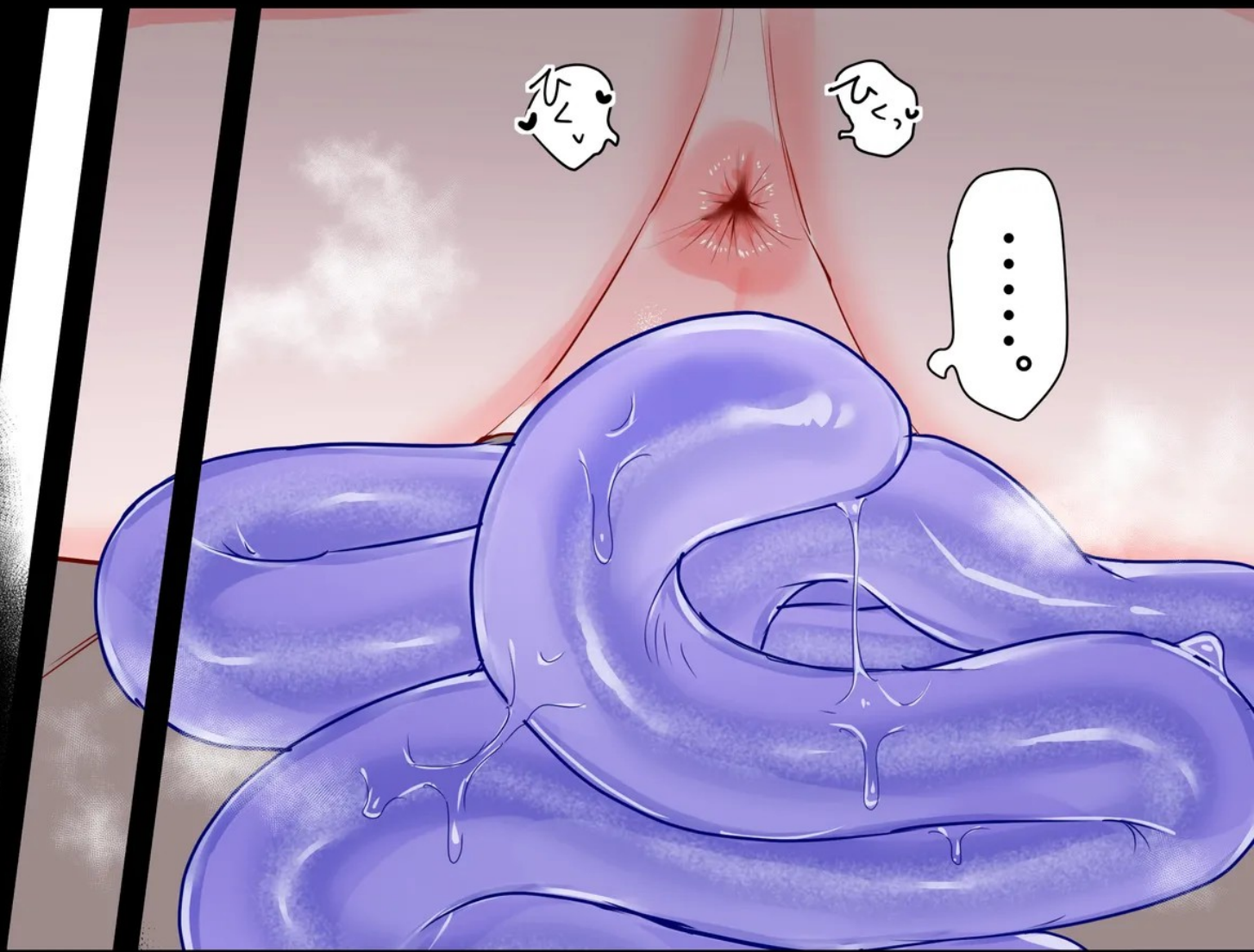


んうっ ♡  
はっ  
はっ



あぁー… ♡  
はっ  
はっ







ホッ  
● ● ● ● ●  
ご主人の名前

だいたい  
いつもアンタ



日本では神に名前を  
知られるとのー…

神隠しに遭うって  
話があるんじゃない



のうご主人。  
知っておるか？

えっ…



…ッ!?  
なんで私  
の名前を!?



そして人の子を取って...

食う♡

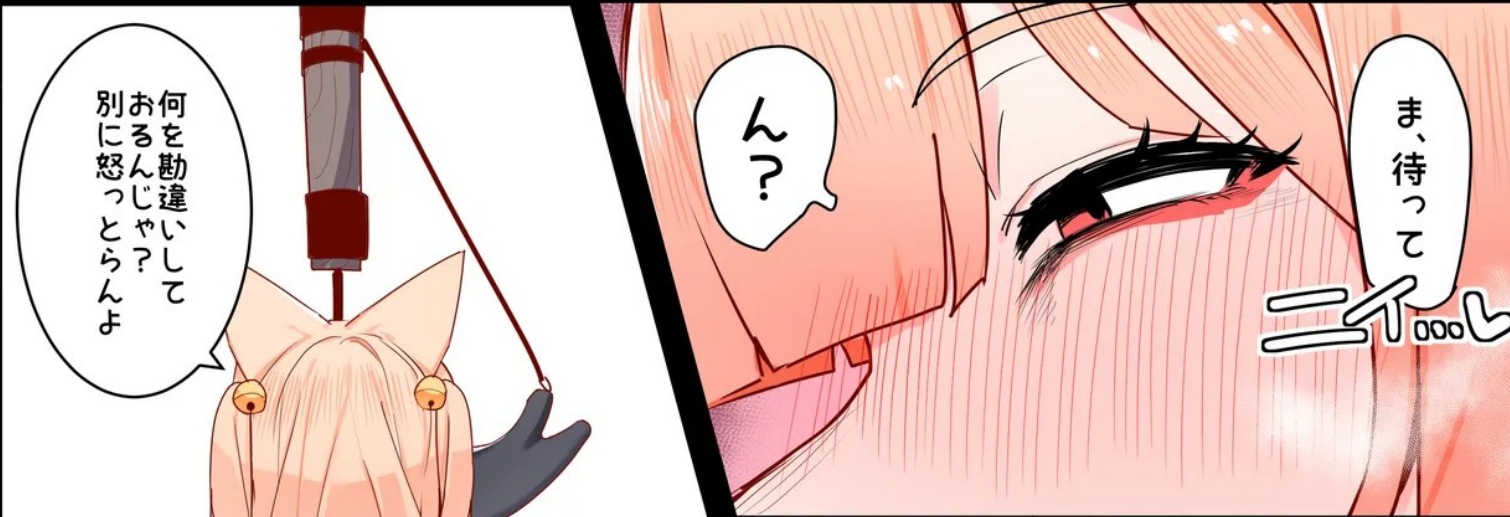
あーん

ぢ...

ぢ...

死にたくない...

ちよつとねえ...



ん?

ま、待って

ニイ...



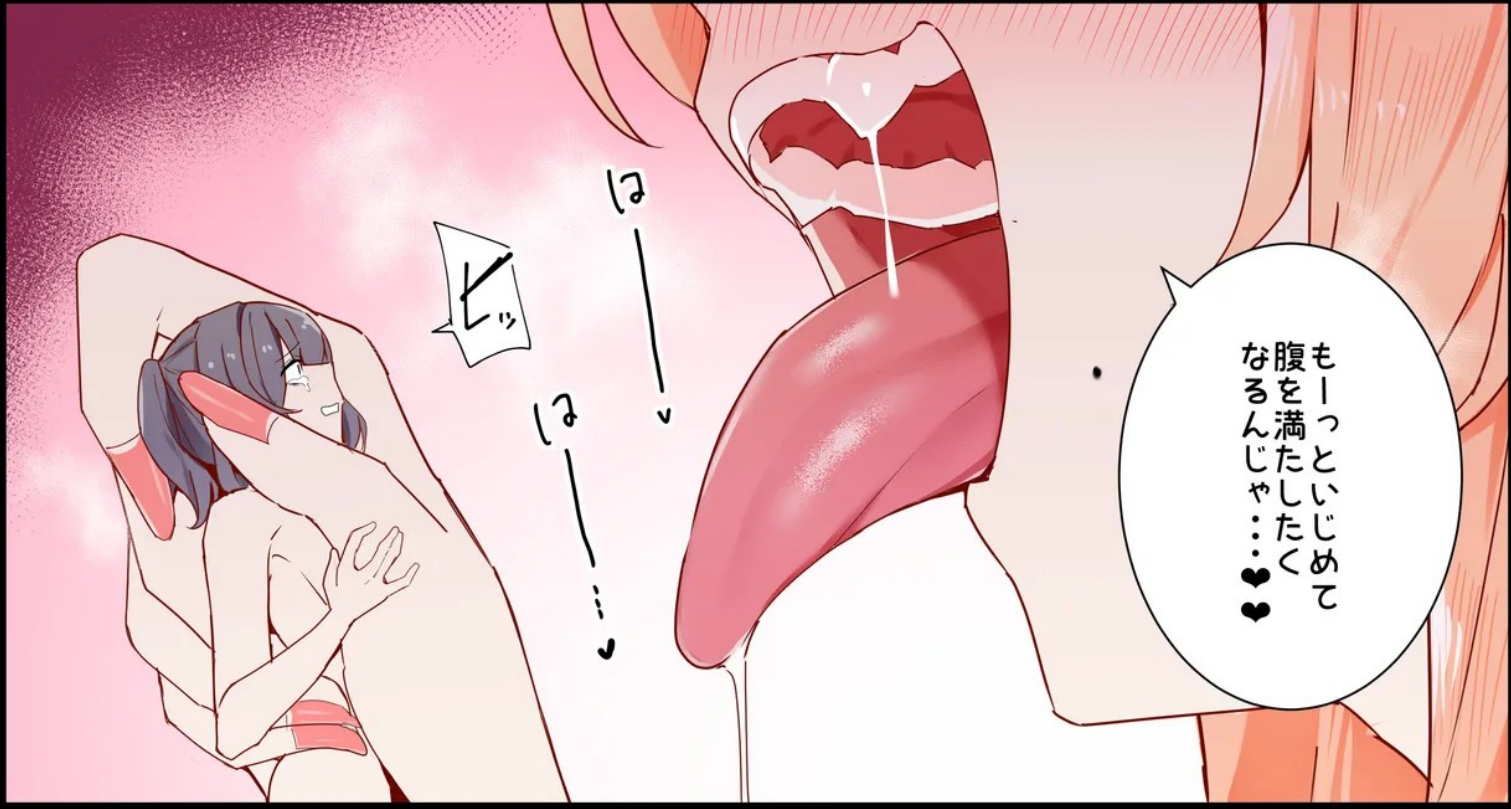
ごめんなさい...

ごめんなさい...  
ごめんなさい...  
ごめんなさい...

ごめんなさい...  
ごめんなさい...  
ごめんなさい...

何を勘違いしておるんじゃない? 別に怒っとらんよ

...ただそんな姿で必死に喚いておる人間を見ると



もーっといじめて  
腹を満たしたく  
なるんじゃ……♡♡



んがぶろ

どうやって  
搾り取ってやろうか  
楽しみじゃ♡♡



こういうのを西洋では  
きゅうとあぐれっしょん  
って言うのかの？♡

うああ……ッ

が  
が





ぐわん...♡



カ  
ら  
い  
♡

待ってえ♡  
舌で♡  
擦らないで♡

もう働かなくて♡  
いいからあッて♡



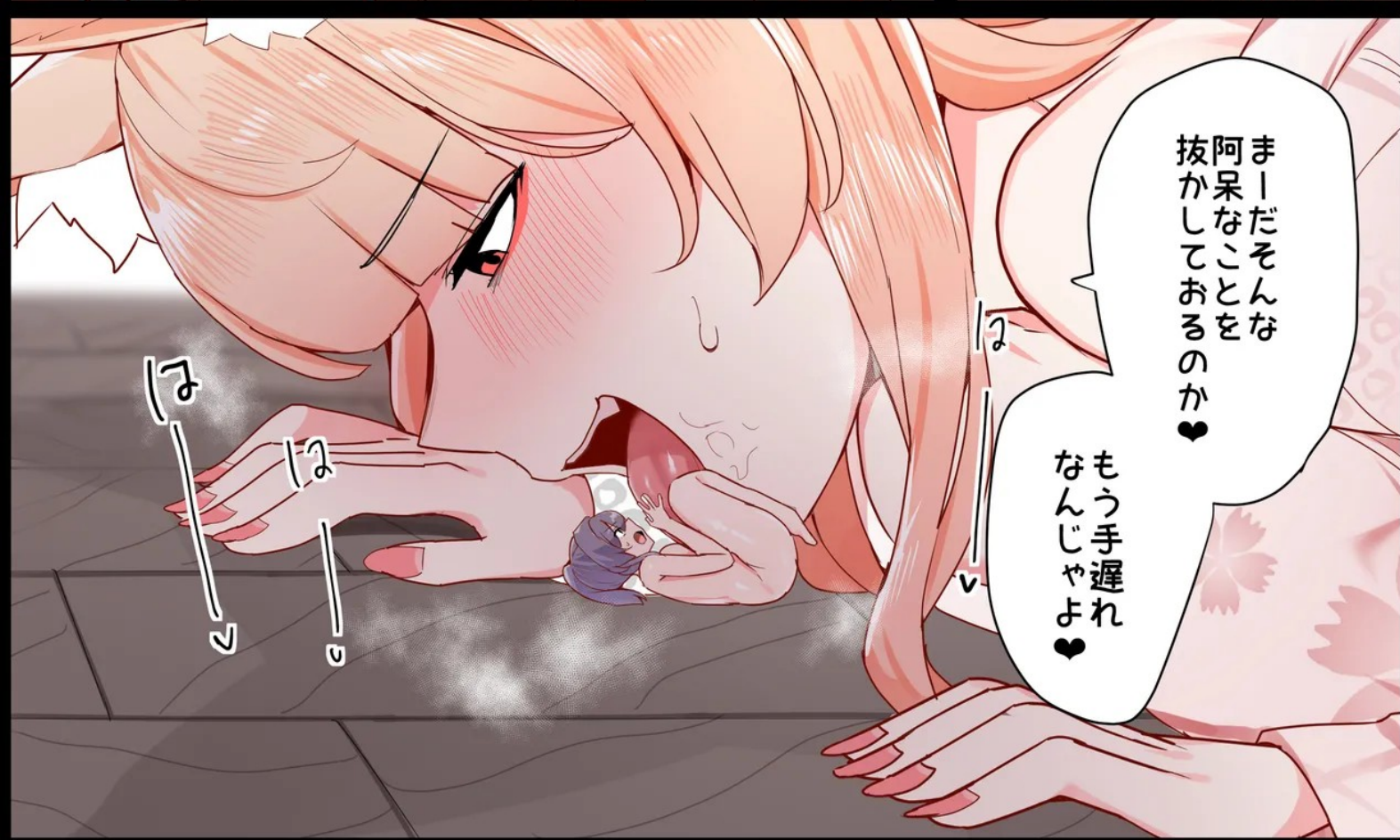
ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ぬほろ...♡

ご主人...♡



は

は

は

♡

まだそんな  
阿呆なことを  
抜かしておるのか♡

もう手遅れ♡  
なんじゃよ♡







あれこれ…  
また見た光景…

やばい吞まれる…  
でも温かいなあ…  
♥

あー

ぬるる…

ぬるる…

口の中…

ぬるる

ぬるる

いたらき  
まあ〜  
♥

あれこれ…  
また見た光景…

やばい吞まれる…  
でも温かいなあ…  
♥

あー

ぬるる…

ぬるる…

口の中…

ぬるる

ぬるる

いたらき  
まあ〜心  
♥



どんどん身体が  
小さくなってく…



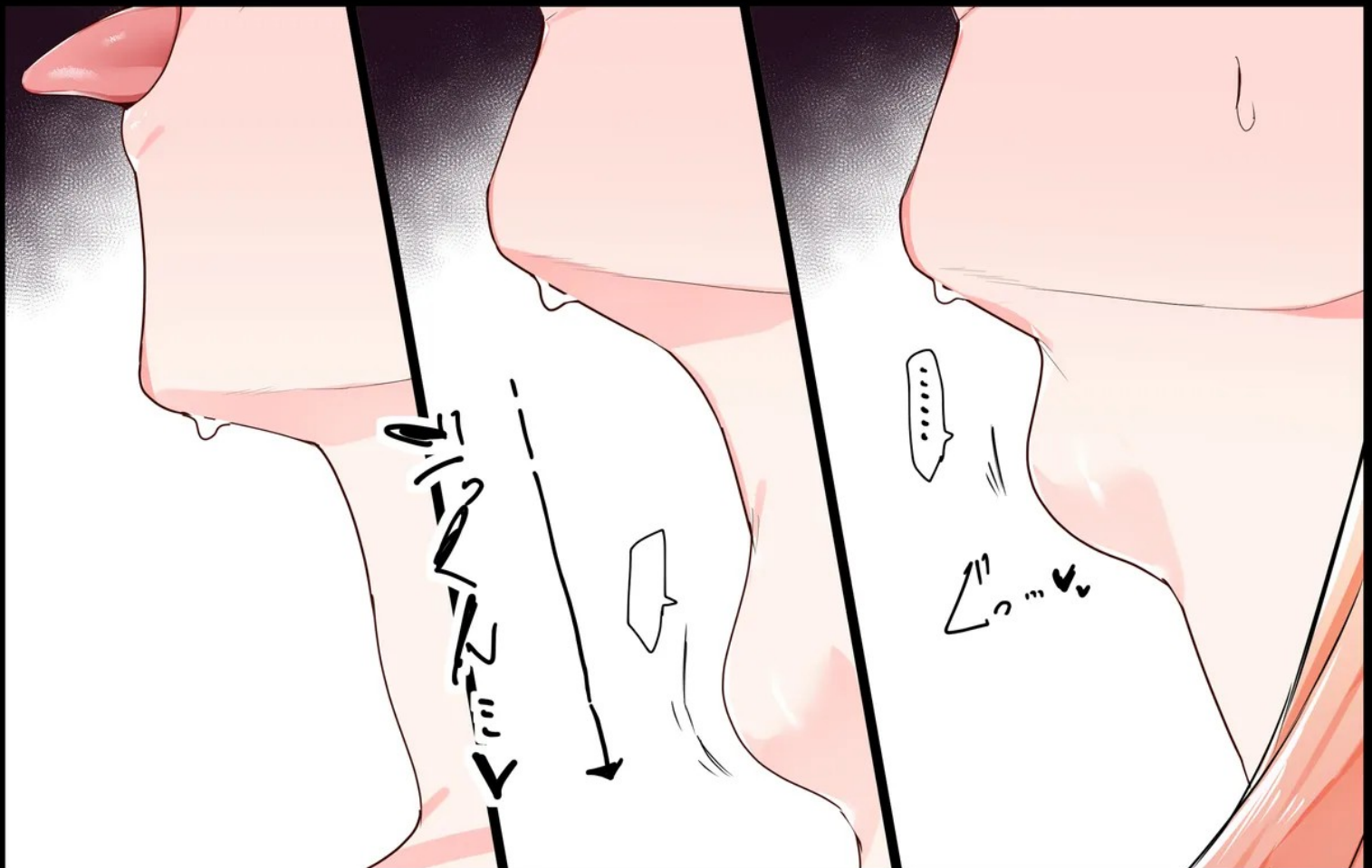
ダメだよっば  
カが入らないば…

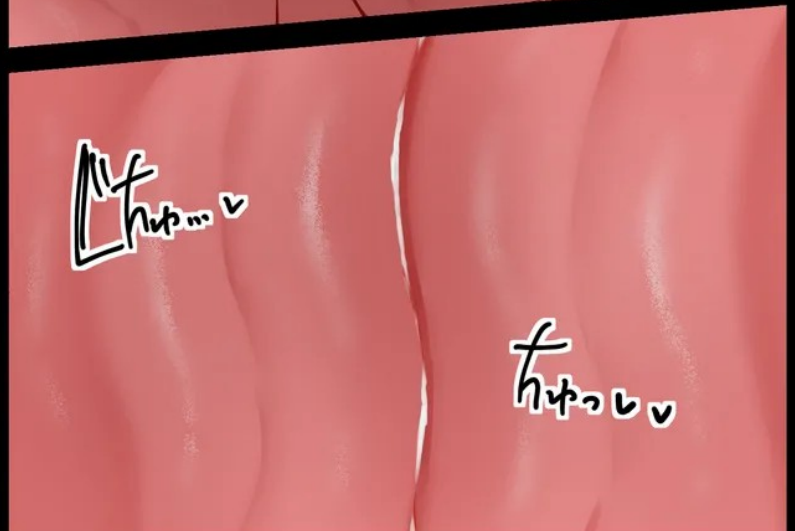
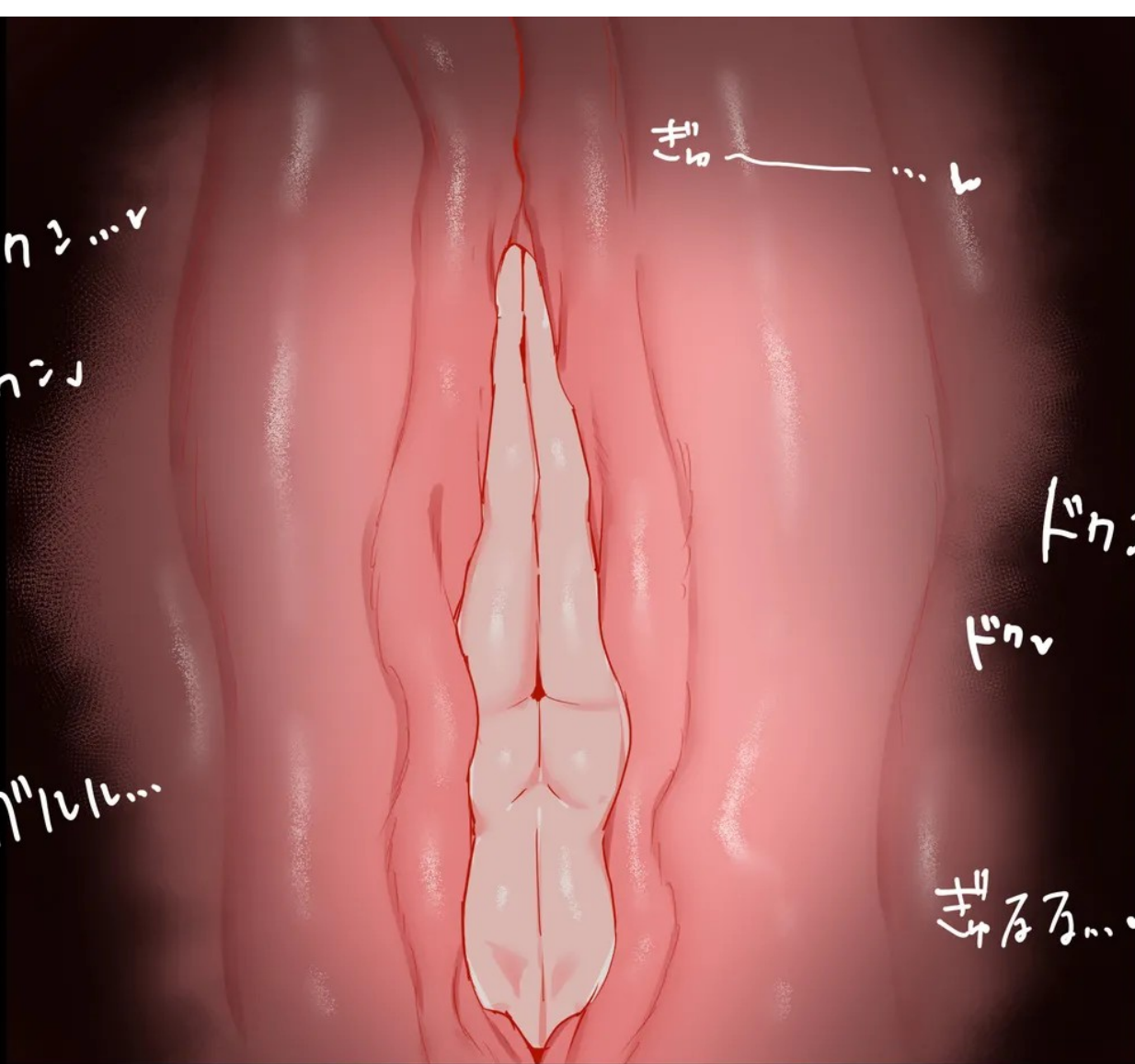


きんきん











くっくっくっ…♡♡  
ぞーっ♡と一緒じゃね♡



# おつかい!!

何とか今年中に完結させることができました!  
今年は私生活でも大きな変化があり  
大変でしたが、2作品完成させることが  
できて満足です!!

来年はもっと色々頑張ってみよう  
と画策しているので  
これからよろしくお願ひ致します!

ではよいお年を~

「お狐様と一緒に」

著者：踊るロンドン  
連絡先：odoru\_london

X(旧Twitter)：@odoru\_london

踊るロンドン  
Odoru-London

※本稿の無断転載、複写、複製、配布などの  
行為を固く禁じます。



ま、ま、ま、  
力が過ぎたて…  
もう我慢できんっ♡



んっ♡

ふうー…♡

ぬるっ♡  
まっ♡



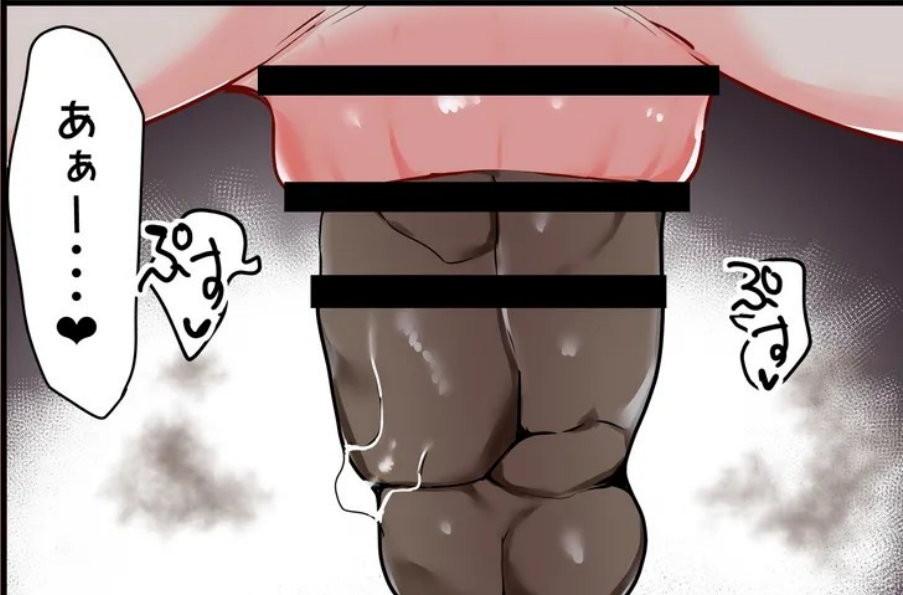
ご主人すまんが  
少し我慢してくれ♡

まっ♡  
まっ♡



んっ♡

まっ♡



ああー…♡

まっ♡

まっ♡



